



## 広報資料

### 英語版海図の寄贈について

第一管区海上保安本部では、廃版となった英語版の航海用海図を歴史的資料として閲覧や調査研究などに有効利用してもらうため、小樽市総合博物館に寄贈します。

海上保安庁では、船舶が安全に航海するために必要な航海用海図（以下「紙海図」という。）を刊行しています。海上保安庁が刊行している紙海図には、日本語と英語を併記した紙海図（日本語版海図）と外国人船員の利便性を図るため、英国海洋情報部（UKHO）と共同で刊行している英語表記のみの紙海図（英語版海図）があります。

近年、世界の船舶で海のDX（デジタル・トランスフォーメーション）が進んでおり、電子海図が急速に普及する一方、紙海図の利用は大きく減少しています。また、令和4年には、UKHOが紙海図の刊行を徐々に取りやめ、デジタル化を推進すると発表しました。

海上保安庁では、電子海図が急速に普及していること及び同じ海域で日本語版海図を刊行していることを踏まえ、英語版海図については、令和6年7月から令和8年度にかけて段階的に廃版しています。

廃版となった海図は、航海に使用できず、海図としての役目を終えています。一方、ペーパーレスが加速する時代の中で、日本と英国が共同刊行していた英語版海図の歴史的価値は上がるものと思われれます。

第一管区海上保安本部では、歴史的資料として閲覧や調査研究などに有効利用してもらうため、廃版となった英語版海図を令和6年12月9日に小樽市総合博物館へ寄贈することにしました。

#### 【寄贈品】

	海図番号	図名	海域	刊行年月	廃版年月	枚数
1	JP5	OTARU KO	小樽港	H26.8	R6.7	1
2	JP16	MURORAN KO	室蘭港	H22.4	R6.7	1

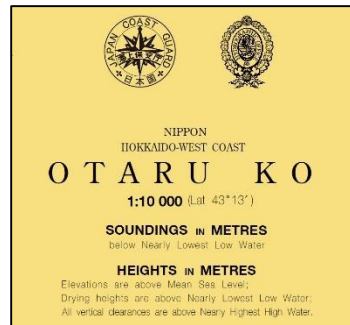
# 日本語版海図と英語版海図の違い

## 【日本語版海図】

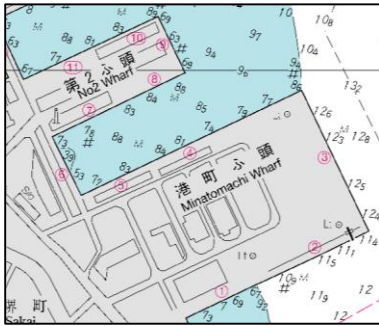


海上保安庁の紋章のみが印刷されている

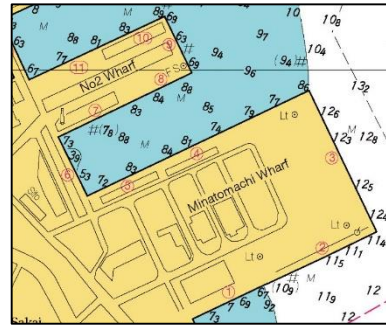
## 【英語版海図】



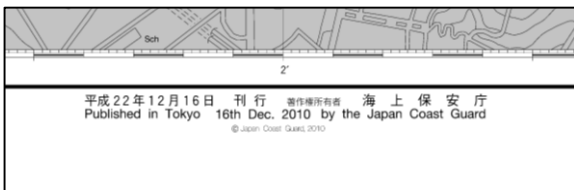
海上保安庁（左）と英国海洋情報部（右）の紋章が印刷されている



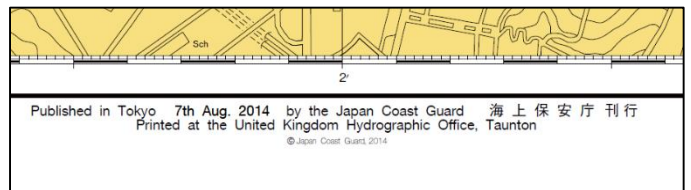
陸部の色は灰色で印刷され、地名等は日本語（英語併記）で表記されている



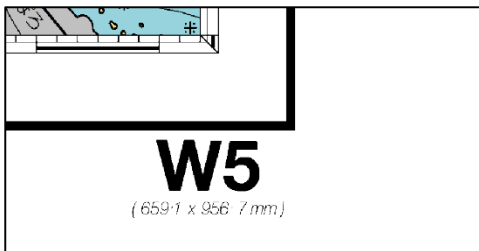
陸部の色は黄色で印刷され、地名等はすべて英語で表記されている



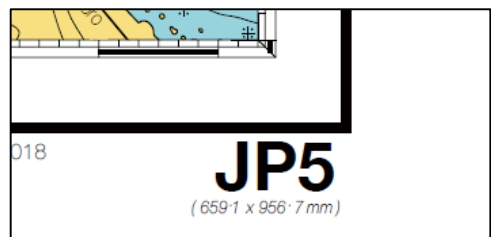
刊行年月日と著作権所有者が表記されている



刊行年月日と刊行機関（海上保安庁）のほか、英国海洋情報部で印刷されたことが表記されている

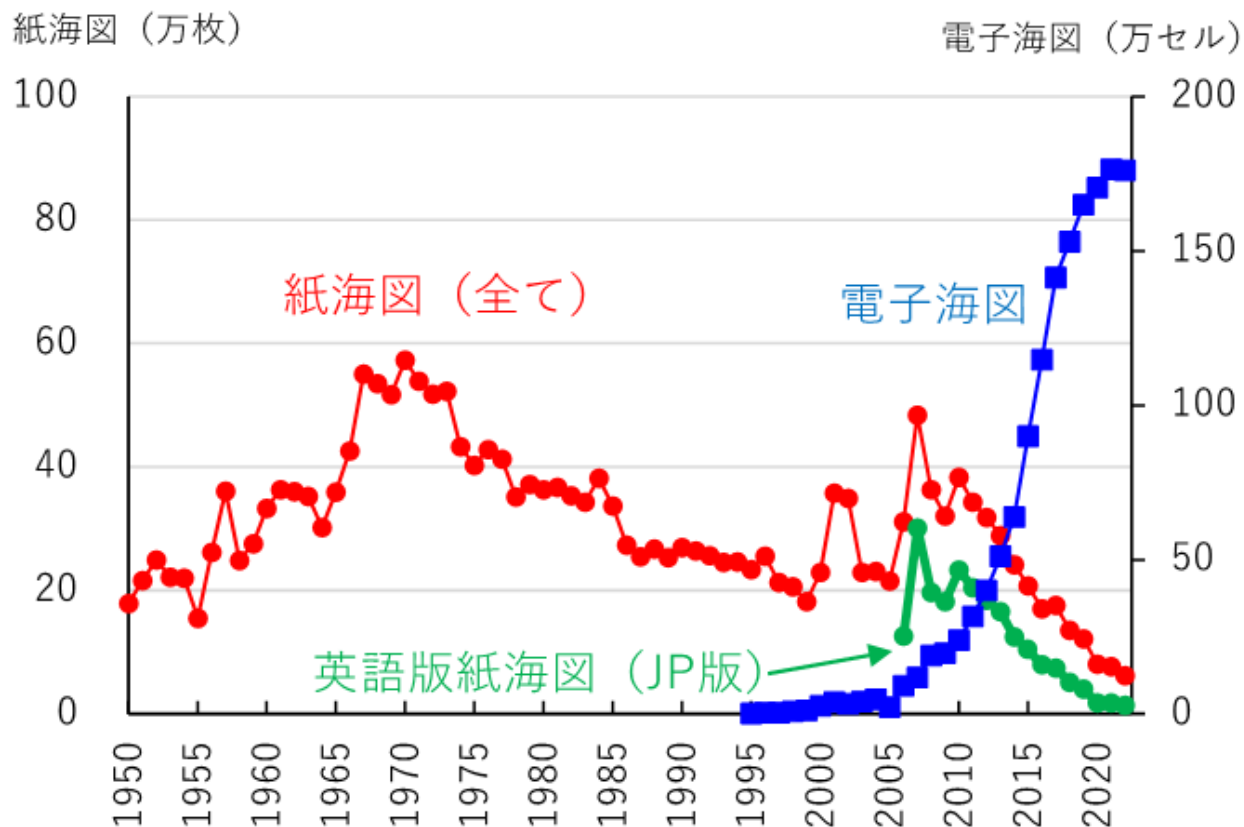


海図番号の先頭に「W」が付いている



海図番号の先頭に「JP」が付いている。

## 我が国の海図の供給数の推移



電子海図表示装置 (ECDIS) が普及した結果、電子海図の利用が増加し、紙海図の利用が減少しました。